



苅田まちづくり観光協会 苅田町イルミネーション事業

苅田町イルミネーション

2024 11.29 (金) ▶ 2025 2.3 (月)

★ 点灯時間 17:30～22:30 ★

『「ぼくらの未来」～輝く70年、つなげよう未来への虹～』をテーマに苅田工業高校の生徒や18の企業、団体による地元愛あふれるオリジナルイルミが、JR苅田駅周辺を暖かく彩ります。苅田町合併70周年記念ライトアップも行います。



カウントダウン点灯式

11月29日(金)

JR 苅田駅前広場

点灯・乾杯 (18:30～)

※駐車場はありません。

ステージイベント・飲食出店 (17:00～20:00)

主催：苅田町イルミネーション事業実行委員会

苅田まちづくり観光協会 ☎ 093・434・5560 (事務局)



詳しくは
コチラから

苅田町合併
70周年記念

輝く KANDA ものがたり

第二話：時空を超えた歴史のパズル



三角緑神獣鏡

さらに時を重ね、銀助の発見から約190年後の昭和60年(1985)、苅田町教育委員会が行った石塚山古墳調査で室内から三角緑神獣鏡の破片が見つかった。それはピザの一片のようだった。190年の時空を超えて、歴史のパズルが完成したのである。



苅田町合併70周年

その中の一枚は、ピザの一片だけ食べられたように欠けていた。

時は流れ、寛政8年(1796)、南原村の庄屋銀助が、この小さな森で農業用水路に使う石を探しているうちに、石で囲まれた空間を見つけた。中には十数枚の三角緑神獣鏡があった。その中の一枚は、ピザの一片だけ食べられたように欠けていた。

前方部に立ち、海側を眺めてみよう。眼前に広がる住宅街と工場群が想像の海に変わると、古墳時代にタイムスリップすることができる。想像の海に船が見えたら、その船に乗ってみよう。すると、陸地に石に覆われた巨大な古墳が見える。朝陽が当たると石がキラキラと輝く、ランドマークだ。苅田地域は瀬戸内海の西端で、難所の関門海峡を通らずにダイレクトに畿内へ行くことができる。畿内から見た九州の玄関口という地理的特徴が、この歴史に大きく影響してくるが、その始まりが石塚山古墳なのである。

苅田町役場横に小さな森がある。木々で覆われているので分かりにくい。前方後円墳の石塚山古墳である。推定全長130メートルで、築造時期は三世紀後半から四世紀だと見られている。



古墳時代の海岸線

石塚山古墳